

J A 北海道大会決議事項の着実な実践を通じた 自己改革の取り組みに関する特別決議

J Aグループ北海道は、昨年 11 月に第 29 回 J A北海道大会を開催した。大会では、「農業所得増大」「担い手確保・育成」「サポーターづくり」など、前回大会の決議事項を継承し加速・拡充していくこと、協同組合の原点を改めて見つめ直し「新たな協同組合」の姿を継続的に討議していくことを決議した。

我々は、政府が主導する農協改革に対し、改革は自ら行うものとして、平成 26 年に定めた「J Aグループ北海道改革プラン」を皮切りに、J A北海道大会での決議を通じて、真に組合員のためとなる改革を不断の行いとして取り組んでいく。

組合員・J A・連合会・中央会の各々が、役割を再確認するとともに、将来ビジョンである「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、協同の力と総合力をフルに発揮し、一丸となって大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革に取り組むものとする。

以上 決議する。

平成 31 年 3 月 12 日

全道農業協同組合長会議